英語科学習指導案

東大阪市立義務教育学校池島学園
授業者　城越 風人
授業者　上野 恵

1. 日 時　　2025年11月19日(水)第5限(13:40～14:30)

2. 場 所　　9年1組教室

3. 学年・組　　9年1組(39名)

4. 単元(題材)名　Being Fair（使用図書:NEW CROWN 三省堂）

5. 単元(題材)の目標

・関係代名詞の目的格を理解し、それを含む英文を正確に読んだり、話したりすることができる。

（知識及び技能）

・身の回りの困難なことや解決策などが相手に伝わるように 、自分の言葉で表現することができる。

（思考力、判断力、表現力等）

・「公平」であることについて書かれた文章を読み、必要な情報を読み取ることができる。

（思考力、判断力、表現力等）

・池島地域の「周りに気づかれにくい困難」についてどのような課題や解決策があるのかを考え、粘り強く英語を話そうとする。（学びに向かう力、人間性等）

6. 生徒観

個人情報が入るため、記載しておりません。

7. 教材観

本単元では、マイノリティーの人たちが、社会で暮らしていくうえで感じている苦労や困難について知ることができる単元である。

Part1 では左利きの人が、日々の生活で感じている困難や、その困難について周りの人が気が付いていないことが記述されており、どんな人でも困難を抱えていることを知ることができる。Part2 では宗教上の理由やアレルギーなどで、食べることができない食べ物があることを知り、そのためにどのような解決策があるのかを知ることができる。その後の GoalActivity では「公平」とは何かについて書かれており、社会にある「公平」について考えるきっかけになると考える。

本単元の文法は、関係代名詞の目的格になっており、名詞をより詳しく説明する力をつけられるような教材である。

8. 指導観

本単元では、「自分の考えを理由をもって伝える力」と「他者の意見を受け止めて考えを深める力」の育成を重視する。単なる知識の習得にとどまらず、生徒が英語を「対話の道具」として用い、多様な立場の人々について学びながら思考を深めていく姿を目指す。そのために、自分の意見を述べる場面だけではなく、相手の意見を聞いて問い返す活動を意図的に設定し、表現・受容の両面での言語活動を充実させる。特に「理由をもって説明すること」と「困っている人の立場を考えて、意見を考える」を繰り返すことで、英語での思考力や表現力の定着を促す。最終的なグループトークの活動では、「池島地域の人に気づかれにくい困難」をテーマに、お互いの考えを英語で共有し合い、多面的な視点や新たな気づきを得る経験につなげる。

9. 単元と特につながりのある“中学校区におけるつけたい力”

つけたい力	
発信する力	自ら題材を決め、多様な視点を持ち、相手を納得できるように表現することができる。
つながる力	相互理解・相互尊重する中で自ら良い人間関係を築き、仲間どうし高めあうことができる。
協働する力	多様な価値観を理解し、主体的に協力しながら、自ら課題をみつけ解決に向けて仲間と協働することができる。

10. 単元の評価規準

①知識・技能　関係代名詞の目的格について理解し、それを含む英文を正確に読んだり、話したりしている。

②思考・判断・表現　身の回りの困難なことや解決策などが相手に伝わるように、自分の意見を英語で伝えている。

③思考・判断・表現　「公平」であることについて書かれた文章を読み、必要な情報を読み取ることができる。

④主体的に学習に取り組む態度

池島地域の「周りに気づかれにくい困難」についてどのような課題や解決策があるのかを考え、粘り強く英語を話そうとしている。

11. 単元の指導と評価の計画(全9時間)

時	学習内容	主な評価規準〔観点〕 ◎指導に活かす評価
第1時	Lesson6 Part1 本文の内容理解 発音の確認 新出文法の確認	(知識・技能) 教科書本文の内容を理解し、正しい発音をすることができる。
第2時	Lesson6 Part1 本文のリテリング 身の回りの気づかれにくい困難について考える。	◎(主体的に学習に取り組む態度) 身の回りの気づかれにくい、困難について考えようとしている。
第3時	Lesson6 Part2 本文の内容理解 発音の確認 新出文法の確認	(知識・技能) 教科書本文の内容を理解し、正しい発音をすることができる。
第4時	Lesson6 Part2 本文のリテリング 身の周りの気づかれにくい困難についての解決策を考える。	◎(主体的に学習に取り組む態度) 身の回りの気づかれにくい、困難についてどのように解決をすることができるのかをペアや周りに伝えようとしている。
第5時	Lesson6 Goal Activity 本文の内容理解	(思考・判断・表現) 記事の概要を捉えることができる。 内容に基づいて、Q&A を考えている。
第6時	Lesson6 Goal Activity 池島学園の地域にある、「気づかれにくい困難」について自分の意見をまとめ、メモを作成する。	(思考・判断・表現) マインドマップを使用し、自分の意見をまとめ、発表用にメモをまとめている。 (主体的に学習に取り組む態度) 池島地域の課題について、自分事として話そうとしている。
第7時 本時	Lesson6 Goal Activity	(思考・判断・表現) 池島地区の気づかれにくい困難について英語で自分の意見を伝えている。 (主体的に学習に取り組む態度) グループトークの中で、粘り強くコミュニケーションを積極的にとろうとしている。
第8時	Language Focus6 ・関係代名詞目的格の確認	(知識・技能) 新出文法を理解し、問題を解いている。

12. 本時の展開

（1）本時の目標

・池島地区の気づかれにくい困難について英語で自分の意見を伝えたり、質問をしている。

・グループトークの中で、粘り強くコミュニケーションを積極的にとろうとする。

（2）本時の評価規準

①思考・判断・表現　　池島地区の気づかれにくい困難について英語で自分の意見を伝えている。

②主体的に学習に取り組む態度

グループトークの中で、粘り強くコミュニケーションを積極的にとろうとしている。

評価基準

評価A（十分満足できる）	評価B（満足できる）	評価Bに達していない子どもへの支援
・池島地区の気づかれにくい困難について英語で自分の意見を伝えたり、質問をすることができる。	・池島地区の気づかれにくい困難について英語で自分の意見を伝えることができる。	・教師のヒントを見せながら、自分ではどのように言えるか一緒に考えながら、日本語を考えた時に、英語で言えなさそうな語句に関しては、事前に調べて、単語欄に記入しておく。
・グループトークの中で、粘り強くコミュニケーションを積極的にとることができ、さらにグループでの進行などもすることができる。	・グループトークの中で、粘り強くコミュニケーションを積極的にとることができる。	・メモを見ながらでも、話すことができるように、練習を一緒にするなどをして、少しでも英語をはなすことができるようにする。

（3）本時の学習過程

時間	○学習内容・学習活動	予想される子どもの反応	●指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
10分 導入	・前時に考えたメモを基にどのように英語にするかを考える。 ・前時に提示した教師の例を見せる。 ・日本語で考えたメモを見ながら、英語でどのように言うかを表現や単語を調べる。	・どのような流れで発表するのかを理解し、自分のメモを見ながら英語を話す練習をする。	・メモがまだ完成していないことが予想されるので、何か他者参照できるような足場架けをしておく。
35分 展開	・池島校区の課題の1つである「道幅が狭い」について、池島学園の生徒会長として、どのように解決するのかを伝え、Q&A も1人1つずつする。 7分間 ・Q&A ・中間指導 ・もう一度同じお題をグループのメンバーを変えて行う。7分間 ・Q&A ・2回目のグループで今までの交流のなかで、一番興味深い意見を1つ選んで、班の意見として、発表する。	始め方がわからない生徒が 「I want to change ～ .」 「I think ●● is bad in my town」のような始まりが多くなると考える。 ・狭い道を通るときには、スピードを落として通る。 ・譲り合う ・なるべく違う道を使って、狭い道が混まないようにする。 などと言った意見が出てくると予想される。 ・興味深い意見として挙げられるのは、 ・狭い道ではなく、広い道を通る。 ・自転車専用の道を作る。 ・一方通行の道を作る。	●どのように話していいのか、わかないときには、ロイロで配信している例に倣って、伝えてみようと伝える。 ●グループトークをする際に、定点でビデオを撮るよう伝える。 ◎メモを基に自分の意見を伝えることができる。（思考・判断・表現） ◎グループトークにおいて、円滑に進むように、取り組むことができる。（主体的） ●中間指導では、わからない表現を確認する。またどのような表現を用いたかの確認をする。
5分 まとめ	・振り返りの記入 自信をもって伝えられたこととその理由と次に活かしたい点	周りの子と似たような意見だったので、どのように伝えていいのかわかったので、自信を持てたなどがあると考える。	